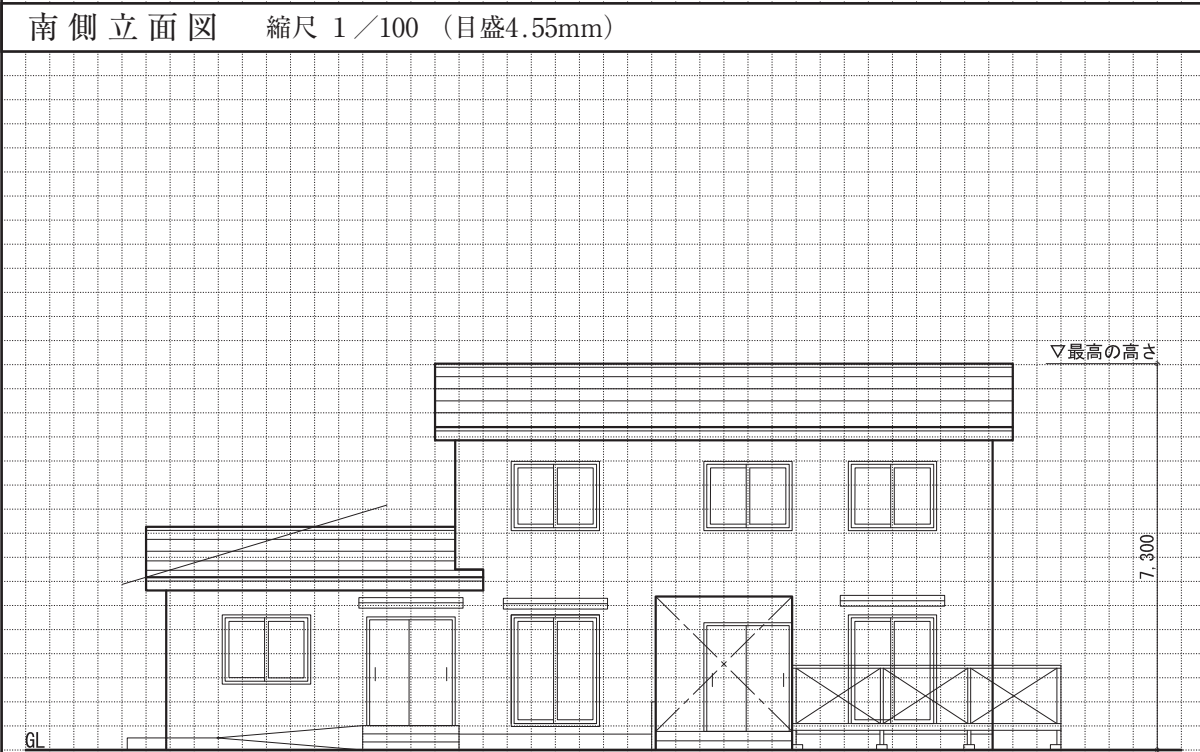
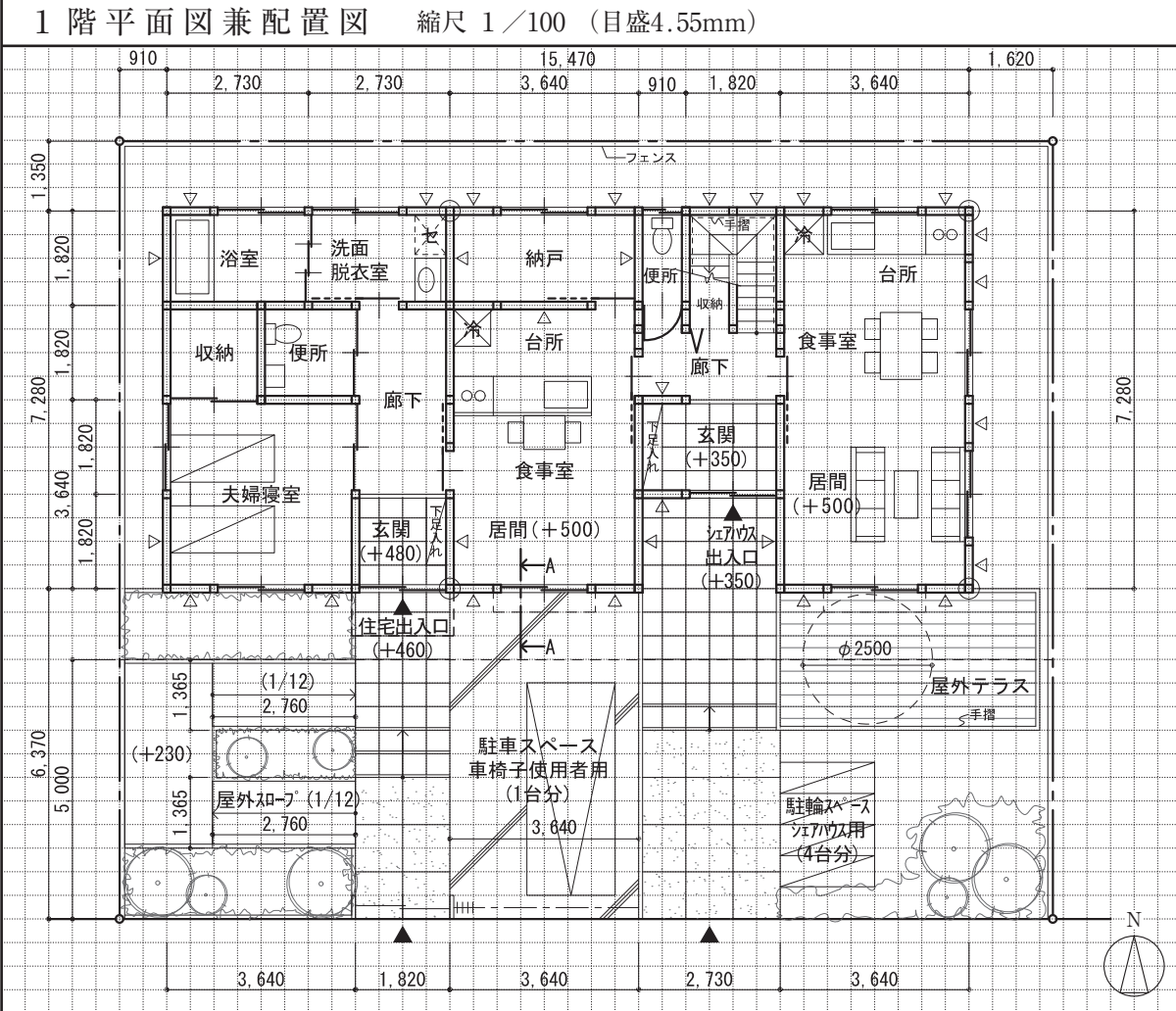
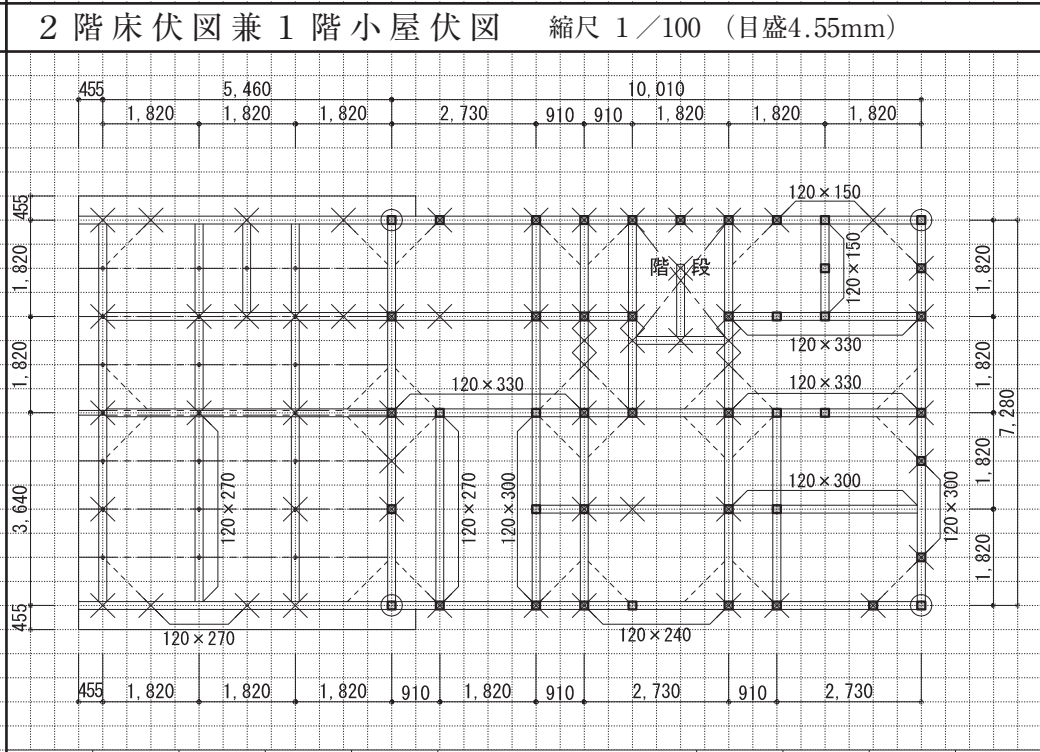
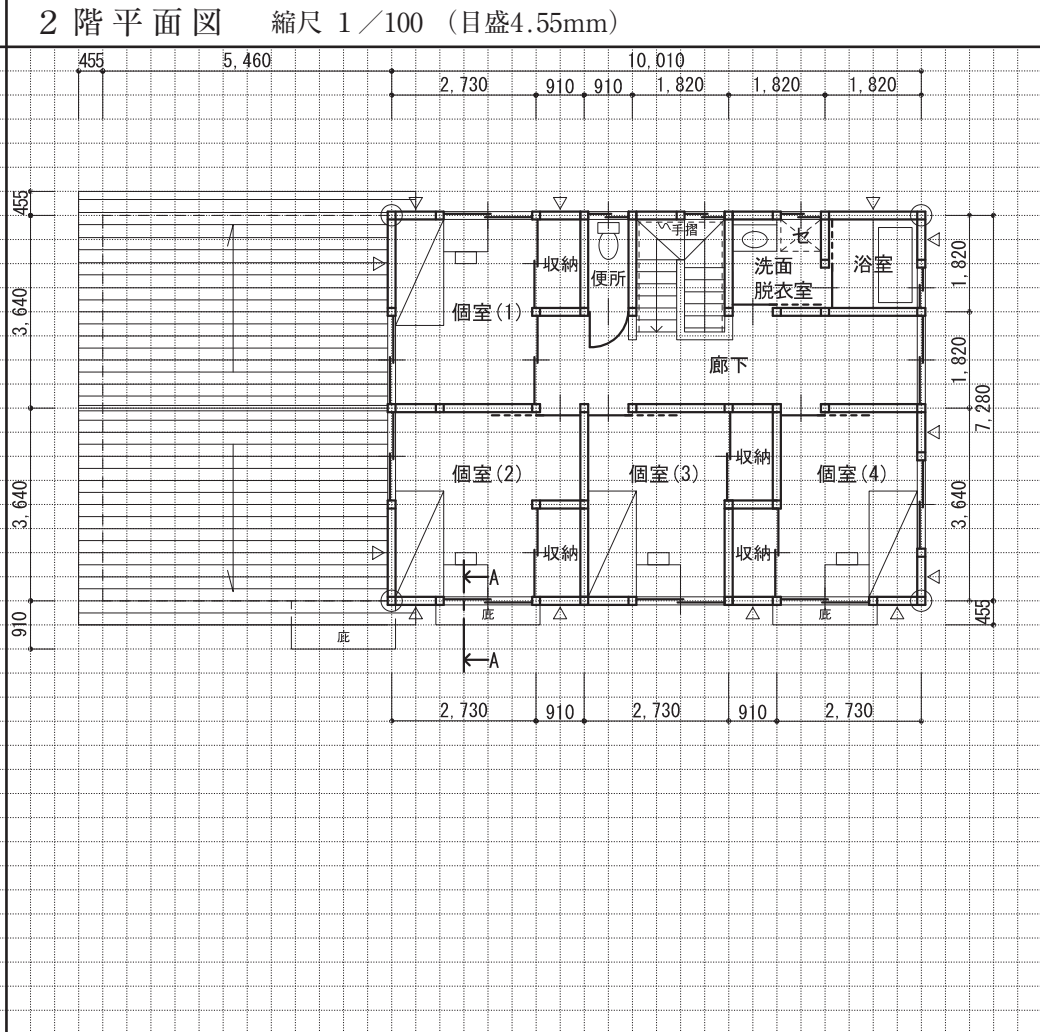




面積表	敷地面積	270.00 m ²		床面積	(計算式)		
	建築面積	(計算式)	112.62 m ²		1 階	(7.28×15.47)－(1.82×2.73) =107.653	107.65 m ²
		2 階			(計算式) 7.28×10.01=72.872	72.87 m ²	
		延べ面積			180.52 m ²		

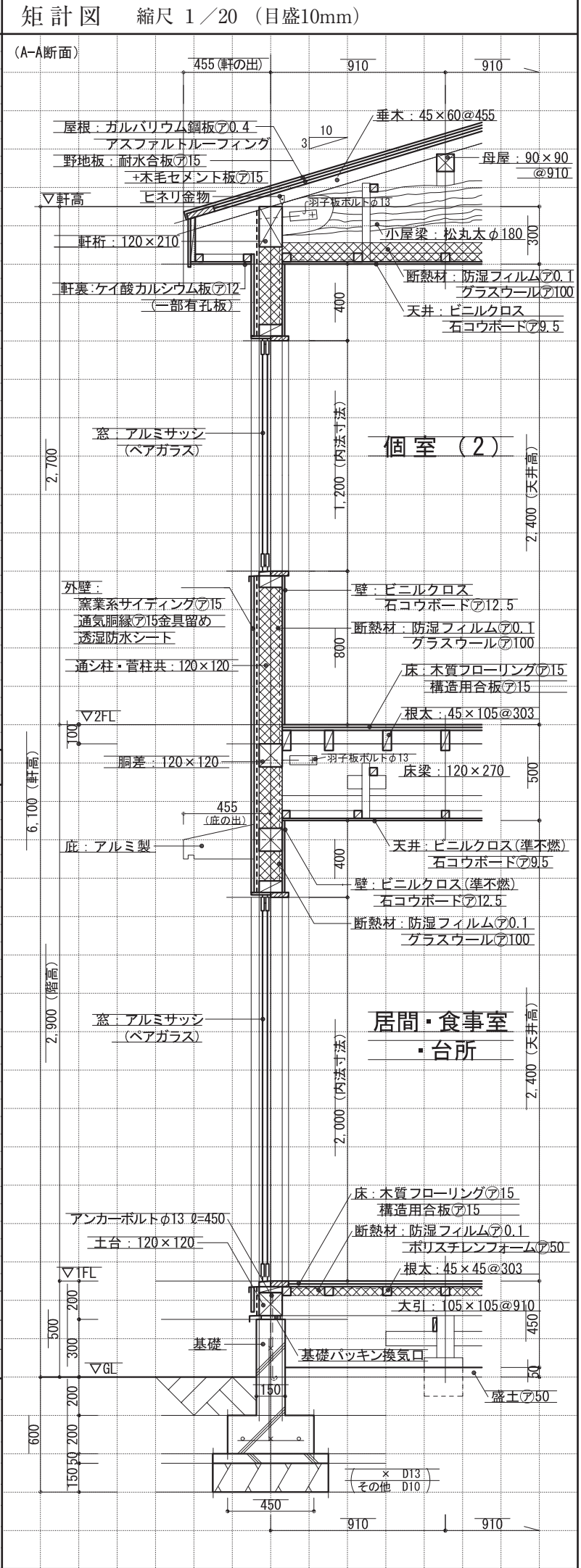


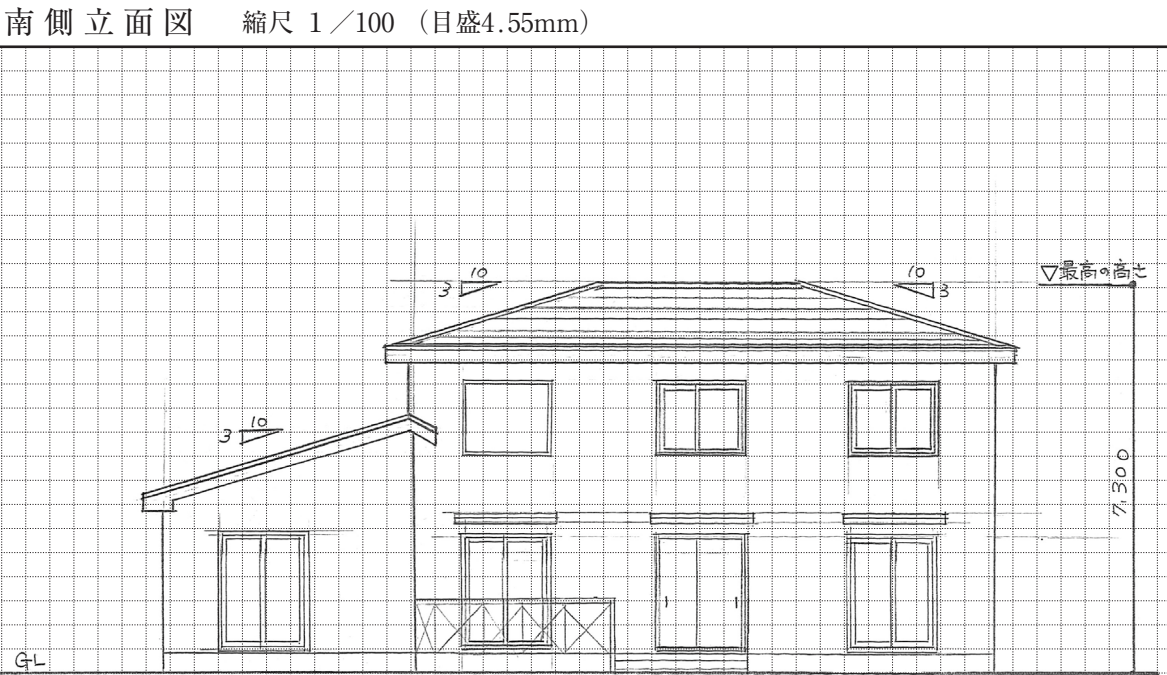
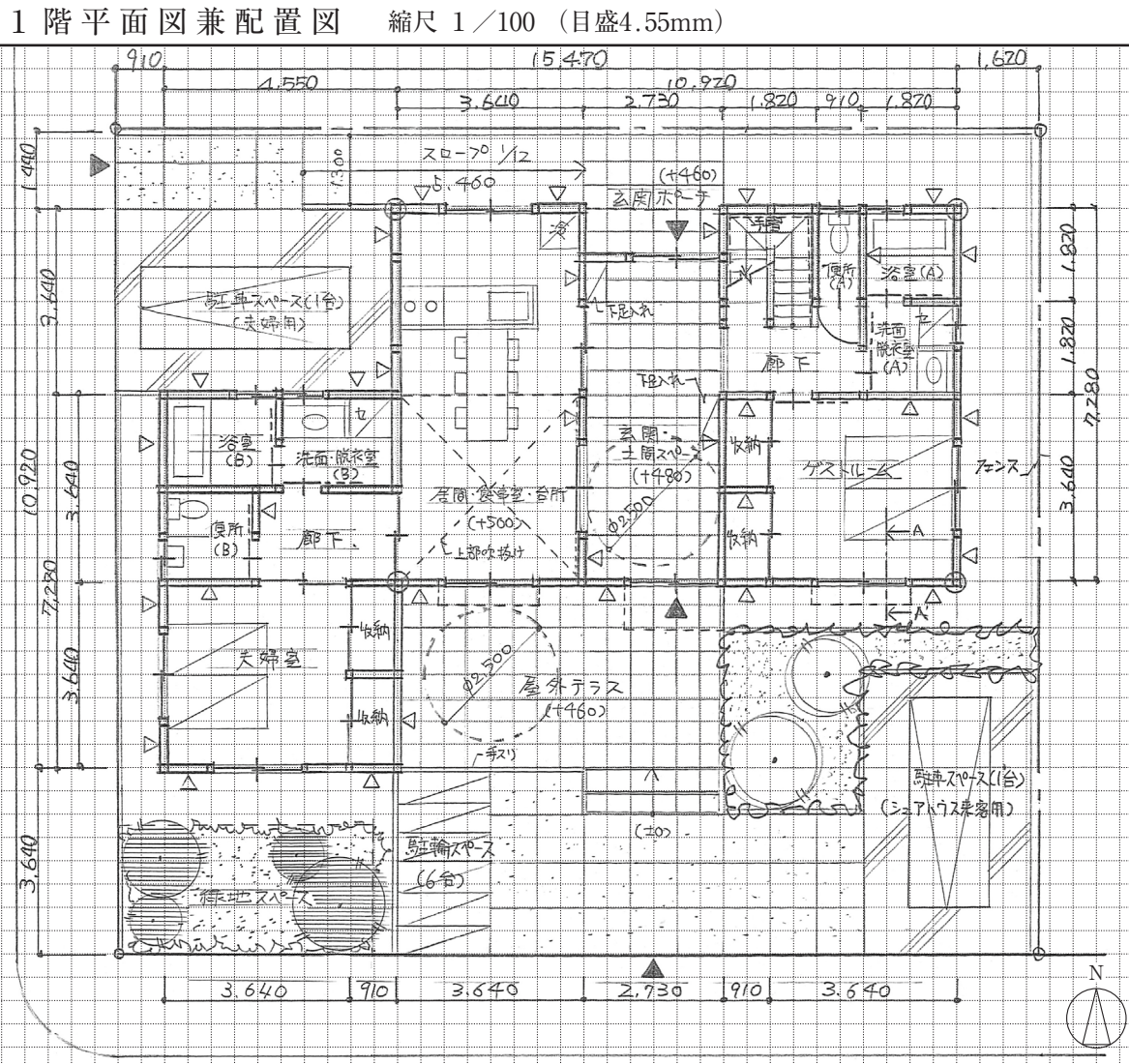
凡 例	通し柱	1 階の管柱	2 階の管柱	1 階と2 階が重なる管柱	廊差・2 階床梁・桁・小屋梁	火打梁	棟木・小屋束	母屋・小屋束
表示記号								
断面寸法の記入欄 (mm)	120×120	120×120	120×120		120×120	図中に記入	図中に記入	90×90

①夫婦寝室について、シェアハウスに対して静かな環境となるように工夫した点：
1 階の東側シェアハウスゾーンから最も離れた西側に夫婦寝室を計画した。上階の騒音に配慮して、夫婦寝室は平家とし、静かな環境で就寝できるように工夫した。

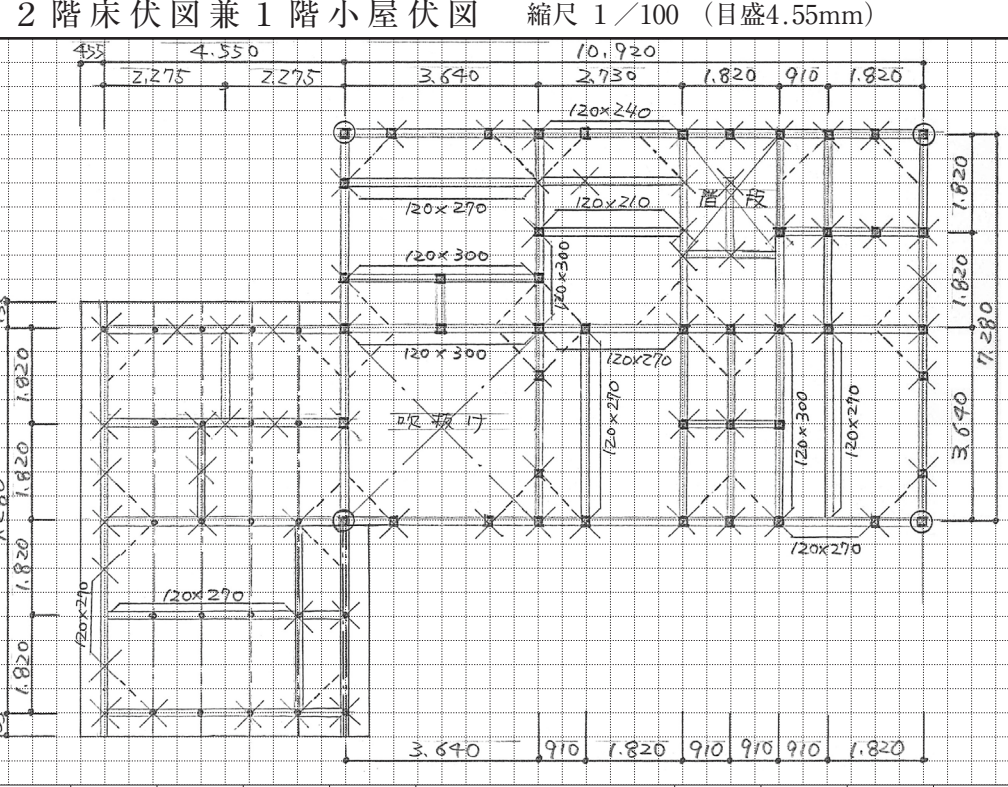
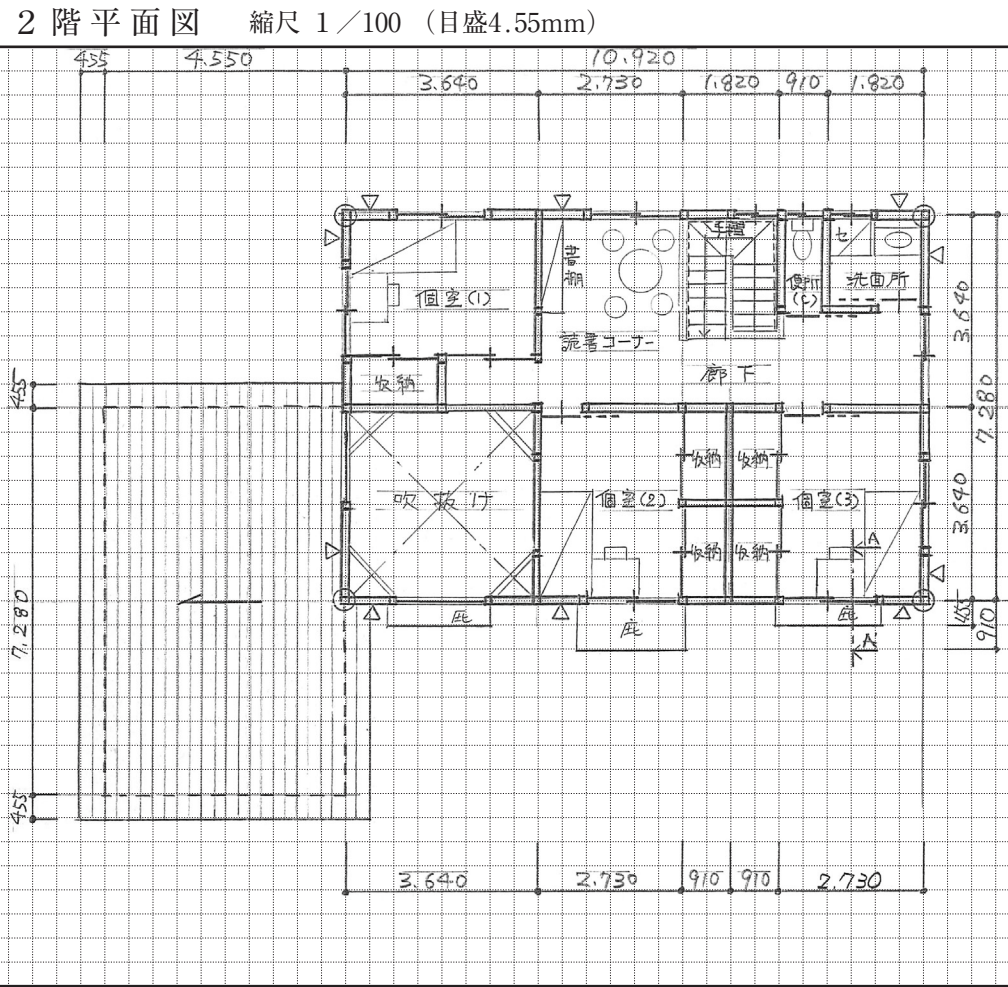
②シェアハウスにおける各室の室内計画及び動線計画について、工夫した点：
入居者が各個室から容易に洗濯、洗面、入浴ができるように、洗面脱衣室、浴室はまとめて2 階に配置した。高齢者夫婦が運営管理しやすいように、居間・食事室・台所から出入りできるようにした。

③外構計画に当たって、工夫した点：
シェアハウスと住宅のアプローチ及び敷地内の動線は明確に分けて、使いやすい計画とした。植栽を多く設け、緑豊かな安らぎのある屋外空間とした。





面積表	敷地面積	288.00 m ²		床面積	1 階	(計算式) (10.92×7.28)−(2.73×0.91) + (4.55×7.28)=110.137	110.13 m ²
	建築面積	(10.92×7.28)+(4.55×7.28) =112.621	112.62 m ²			2 階	(計算式) (10.92×7.28)−(3.64×3.64) =66.248
					延べ面積		176.37 m ²



凡 例	通し柱	1 階の管柱	2 階の管柱	1 階と2 階が重なる管柱	廊差・2 階床梁・桁・小屋梁	火打梁	棟木・小屋束	母屋・小屋束
表示記号								
断面寸法の記入欄(mm)	120×120	120×120	120×120		120×120	図中に記入	図中に記入	90×90

① 玄関・土間スペースと居間の配置計画において、工夫した点：
玄関・土間スペースと居間は、シェアハウスエリアと夫婦の住まいのゾーンの間中部に設け、それぞれの動線が交差することなく、行き来できるようにした。 上部が吹抜けとなる居間は、明るく開放的な空間となるように、日当たりの良い南面に設けた。

② 屋外施設の計画において、工夫した点：
屋外テラスは、玄関・土間スペースから居間の前面に渡って広く設けることで、より大きなスペースで屋外活動が行えるようにした。 夫婦の住まいとシェアハウスのアプローチを明確に分離するため、それぞれの駐車スペースと建築物へのアプローチを北側道路側と西側道路側に分けて配置した。

③ 建築物の構造計画について、工夫した点：
耐力壁は、耐震性・耐風性を確保するため、X方向、Y方向とも必要数量をバランス良く配置した。 柱と梁の仕口には羽子板ボルトを、垂木と軒桁の取り合いにはヒネリ金物を設け、接合強度を確保した。

